

会員会社紹介

住友電気工業株式会社

知的財産部 標準化推進室
井上 享



住友電気工業株式会社(以下、住友電工)は、1897年に住友伸銅場として大阪で創業し、昨年、創業120周年を迎えました。また、住友グループの源流である別子銅山での銅精錬業まで遡ると400年の歴史を有しています。

住友電工は、創業以来、電線・ケーブルの製造技術をベースに、意欲的な技術開発と新規事業への挑戦を通じ、事業領域を拡大してきました。下図に我々の技術開発、事業開発の系譜を示します。現在では、自動車、情報通信、エレクトロニクス、環境エネルギー、産業素材の5つのセグメントで事業を展開しています。

住友電工グループ全体では、アジア、アメリカ、ヨーロッパを中心として、世界約40カ国で390社以上の関係会社が活動しています。あまり知られておりませんが、連結従業員数は全世界で24万人を超え、日本企業では第6位の規模となっています。

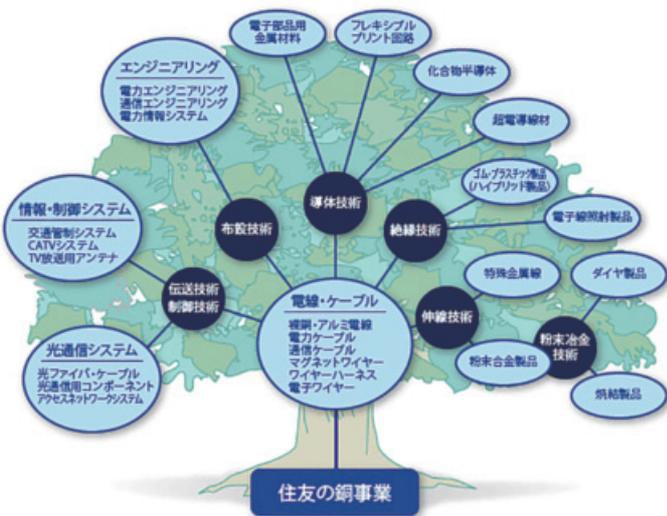
住友電工グループで取扱う製品は、自動車用ワイヤーハーネス、通信用機器・交通管制などのシステム、フ

レキシブルプリント回路、電力/通信用のケーブル、切削工具や焼結合金・ダイヤモンドなどと、大変幅広いのが特徴です。また、コネクティッド時代の到来により、自動車と情報通信、エネルギーと情報通信といった融合領域での事業機会も拡大しつつあります。

標準化においても、有線通信系のTTC、ITU-Tに加えて、IEC、ISO、IEEE、3GPP、SAE等、多くの委員会に関わっています。

情報通信技術は、社会を支える基盤として、これからも重要性は増すばかりです。TTCには、国内における情報通信分野の標準化のベース基地として、幅広い視野で標準化をリードし続ける存在であることを期待しています。

～社会を支える～住友電工は、創業以来果たしてきた役割をこれからもしっかりと担い続けていきたいと考えています。標準化においても、皆さまの御指導、御協力を頂きながら貢献していければと考えておりますので、宜しく御願ひ致します。



住友電工の技術開発・製品開発の系譜



5つの事業分野